

ぼくのノオト

⑰ 星人の責任

夜走らす舟やゝ子ぬふあ星見あてい  
我ん生ちえる親やゝ我んどう見あてい  
沖縄民謡「ていんさぐの花」。

今年も百二十万の若人が、新成人として  
巣立っていく。自分の想うことを、誰はば  
かることなく行える喜びと、それに伴う責  
任も重く感じていることだろう。ところが、  
世にも不思議な国ニッポンでは、いい年を  
して成人できない人種もいるようだ。

事故責任を持つものが、問われる責任の  
ない民に、自己責任をのたまう。そればか  
りか、その責任を逃れるため、真実を隠し、  
嘘をつき、他者に罪をなすり付ける。財と  
地位を得ることの他に思考のベクトルを持  
たぬ輩と、墮落した権力が、この劣化した  
無責任社会をつくっている。そして悲しい  
かな、大衆の無気力と思考停止が、その社  
会を支えている。

天ぬ群り星やゝ読みば読まりしが  
親ぬゆし言とやゝ読みやならん  
がんばれ、新成人！ 負けるな、地球人！



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操